

ぬかただより



岡崎市立額田図書館

秋号 No.68

2023年9月発行

9月、実りの秋。まもなく稲の収穫時期がやってきます。美味しい新米が待ち遠しいですね。今号は地元産のお米「ミネアサヒ」についてお伝えします。幻のお米ともいわれるそのわけは？

まほろし〜♪「ミネアサヒ」とは？

愛知県の山間地域に向く、良食味米として育成され、昭和55年に品種登録されました。他県ではほとんど栽培されておらず、県内でも生産量6%と少ないです。三河地域以外での流通が希少なため「幻のお米」とも呼ばれます。米粒がやや小さく、香り色つやがよく粘りがあり、冷めても美味しくいただけるそうです。味わってみてはいかがでしょうか？



「^{ぜまんじょう きくだし}千万町、木下ふるさと米」「^{とっかわ}鳥川ホタルの米」などが地元産のミネアサヒだよ。

千万町棚田♪

愛知県内では、額田地区^{ぜまんじょうちやう}千万町町にある「千万町棚田」と新城市の^{しんしやう}「四谷の千枚田」が「つなぐ棚田遺産〜ふるさとの誇りを未来へ〜」に選定(令和4年2月14日)されています。「つなぐ棚田遺産」とは農林水産省主催で選定される優良な棚田のことです。

「千万町棚田」で収穫されたミネアサヒは市立小中学校などの給食に登場したこともあります。(令和3年2月2日に1日限定で提供。)



鮎めし街道♪



額田地区で鮎料理を提供する「おかざき鮎めし街道」が愛知県の「いいともあいち食の街道」に認定(2021年)されました。愛知県では、2016年度から県産農林水産物やその加工品を活用し、地域活性化や観光振興に取り組む地域を認定し、その魅力を広くPRしています。

「おかざき鮎めし街道」は、男川の新鮮な鮎とブランド米「ミネアサヒ」を使用し、「鮎めし」を提供する額田地区の7店舗をつなげています。

愛知初の特A

日本穀物検定協会が発表した2020産米の食味ランキングで「ミネアサヒ」(三河中山間)が愛知県で初めて「特A」を獲得しました。(特Aは5段階評価で最上級)

※特Aを獲得したお米は新城市作手産で、残念ながら額田産のお米ではありませんでした…(´;ω;)ウウウ



「米」にコメた思い



日本の暦(雑節)で、立春から数えて210日目(毎年9月1日頃)のことを「二百十日」(にひやくとうか)といいます。大切な稲の開花時期に、台風にみまわれることが多いため、昔から農家は厄日として警戒していたそうです。

この時期、風を鎮めて豊作を祈る「風鎮祭」や「風祭り」などが日本各地で行われます。富山県の「おわら風の盆」は有名ですね。

●参考資料●『おりおりに和暦のある暮らし』旧暦暮らし研究会 角川書店 386.1/オ、『まいにち、うきうき。和の暦』堀川波/著 朝日新聞出版 386.1/マ、『ゼロから理解するコメの基本』丸山清明/監修 誠文堂新光社 616.2/セ、『「ミネアサヒ」愛知初の特A』中日新聞2021年3月5日朝刊、北川開『20年産米食味ランキング、最高位「特A」53銘柄』日本経済新聞2021年3月4日朝刊、竹内雅紀『「食の街道」に認定』東海愛知新聞2021年1月31日、大野晴香『名水で地元産米ブランド化に活路』朝日新聞2019年2月16日朝刊、岡崎市ホームページ <https://www.city.okazaki.lg.jp/houdou/p028248.html>、<https://www.city.okazaki.lg.jp/houdou/p034793.html>、岡崎おでかけナビ <https://okazaki-kanko.jp/feature/ayumeshi/top>、

● 図書館からのお知らせ ●

「おはなしと紙しばいの会」

- ・第2土曜 10:30～11:00
- ・第3金曜 16:00～16:30

「ブックスタート」

- ・偶数月 第1木曜日 10:00～11:00

※中止や変更になる場合があります。
最新情報は図書館ホームページ、
館内掲示等でご確認下さい。



秋号のおすすめ本

ちいさいこむけ

『ずぼっじー』

高橋祐次/作 講談社 E/ス



みんなは すなばあそびは すきかな？ おだんご
つくって おやまを たかく つんで。できた おやまに
トンネルを ほるのも たのしいね。ゆびで ずぼっと
あなを あけちゃおう。そのまま よこに じー。す
なの うえに みちをつくらう。
どんどん みちを たどって いくと？
みんなも いっしょに たんけん してみてね。

小学生向け

『ごみから考えるSDGs』

織朱實/監修 PHP研究所 518/コ



ESDラーズ SDGsとはなにか？国連で定められた2030年までに世界のす
べての人が取り組むべき、17の目標のことをいいます。この本で
は、身近な「ごみ」からSDGsを考えます。「マイバック、マイはし、マ
イボトルを使う」「ものは最後まで使いきって分別して捨てる」「エ
コ製品やリサイクル製品を選ぶ」などごみをつくらないことが大切
です。一人ひとりの努力が世界の未来を守ることになります。この
本を読んで、自分の身近でどんなことが起こっているのかを考え、
できることから取り組んでみてね。

YA向け

『星天の兄弟』

菅野雪虫/著 東京創元社 F/913.6/スカ



ある国の小さな村に生まれた兄弟ヘソクとヘリオン。兄は賢く
神童と呼ばれ、弟は快活で美しい。互いに思い合って成長しま
す。兄弟の父は村でも信望厚い学者ですが、政変に巻き込まれ
無実の罪で捕らえられてしまいます。一瞬にして罪人の子となっ
た兄弟は別々の道を歩むことに。その後、国を左右する出来事
に、二人は異なる立場で深く関わっていきます。使用人の女性エ
ギョンなど登場人物がとても魅力的。読み応えある一冊です。

大人向け

『使い切れない農地活用読本』

農文協/編 農文協 611.2/ツ



「作り手がない」「荒れてしまった」など使い切れない農地の
新しい活用法が見つかります。例えば、獣害に強い品目や手間の
かからない品目をつくったり、木を植えたり、養蜂を始めたたり…。農
地についての素朴な疑問にもQ&A形式で答えてくれます。

愛知県豊田市では非農家のグループが田んぼを借り、お米(ミ
ネアサヒ)を作り始め、少しずつ耕作面積が増えているそうです。こ
うしたさまざまな地域の取り組みも知ることができる本です。

せんべいは、飛鳥時代に中国から日本へ伝わった当時は小麦粉を焼いたものでした。
お米を使ったせんべい発祥の地は埼玉県の草加で、江戸時代に全国へ広まったそうです。
おかきやあられ、米粉パン等々…。お米が原料の美味しいものはたくさんありますね。

食欲の秋、そして読書の秋。色々な秋を感じに額田図書館へぜひお越しください。



 岡崎市立額田図書館 櫻山町字山ノ神 21 番地 1 TEL82-2953

【開館時間】9:00～19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館。